

## 《回復期リハビリテーション病棟 実績報告》

当院南病棟は、回復期リハビリテーション病棟入院料1を算定している病棟です。  
2026年1月～2026年3月の3ヶ月間に、63名の患者さまが退棟されております。  
退棟された患者さまの回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳は以下のとおりです。

回復期リハビリテーションを要する状態	退棟者数
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症若しくは手術後の状態	7人
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	44人
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	6人
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0人
股関節又は膝関節の置換術後の状態	6人

当病棟における直近のリハビリテーション実績指数は **51.04** です。

実績指数算出期間：2025年10月～2026年3月

※リハビリテーション実績指数…「入院から退院に至るまでの間にどれだけ機能が改善したか」という点と、「在院日数が何日なのか」という点に着目し、これらを規定の式に入れることで算出されます。